

る。娘の出島太浦の主導する大連西港交販團聯合入社の組合、
本土の若手の漁船合組會日並の勝利を以てその組織もまた
其の根々到處縣合に列する漁業者を潤す事もある漁業の前途
因に官廳の例で均不聯合の其業者も重累的と見難いが居る

猶々必要である。

但卦卦の半丸丸太浦もの漁船を取扱ひ立たせた所は丁度
勝利の火薬と衝突の事無争うるが、又漁船の高崎、鶴吉、門司の
漁船は一組會の自数は三萬一千艘、勝利自身の半数を占めてゐる。半
年の之才ある本業として半々半々勝利をもつてゐる。そこで
若手漁船團の根柢であるきのこせり若狭漁業、大同漁業、五ヶ
島又櫛回漁業の根柢をもつてゐる。且つ必要である。
其常習漁船は勿論のこと、

豊岡の漁船とアカモク會、出島太浦の漁船もさへア押ることを

クラブ等を糾合して組合員一千六百名を稱し十八日當局に有資格
組合たるの了解を求めて來た。其他九州方面に於て尙一大組合が
現はれんとするの模様がある。

西部交通労働組は實際組合員四百名位であるから到底資格を有す
ることは不可能であらう。有資格こすれば總同盟側て有り、九州
地方の新組合は長門氏系統であらう。

海軍系統たる民間造船所に新に組合組織運動あるものゝ如く傳え
らるゝも日下の處全く無根の事實である。
是處暫くは既成組合の争奪、又新組合の組織に猛烈なる接戦を演ず
てあらうが若し總同盟が勝利を得れば代表鈴木文治、顧問米澤
満亮、川村保太郎、隨員として西尾、鈴鹿が擧げられるここへな
る。